

北朝鮮問題を考える（Ⅰ）

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます

開倫塾の塾長の林明夫です。

今日も開倫塾の時間を聞いて頂いて有り難うございます。

2. 小泉純一郎首相は、17 日に北朝鮮の平壤に行って交渉してくださいましたが、結果的には、8 名の日本人の拉致の方が亡くなっていることが分かって、本当に憤りでいっぱいの方がずいぶんいらっしゃる。私もそう思います。

3. たまたま、私は何年か前にテポドンが発射された少し前だったのですが、誘ってくださるかたがいらっしゃって、北朝鮮に行って参りました。それも名古屋空港からでたチャーター便に乗せてもらって行きました。その当時、テポドンの前までは年間にチャーター便が日本から 10 便位飛んでいました。名古屋空港から平壤まで直行便がありました。120 名位しか乗れない小さな飛行機でしたが、だいたい満杯でした。我々は経営者の仲間が社会主義の国を観たいということで、朝鮮総連の方に旅行の申し入れをして行かせていただいたのですが、残りは皆旧社会党の社民党の方々ばかりでした。国賓としておそらく北朝鮮を訪れていたということだと思います。

4. 平壤の飛行場に行ってみますと、飛行機は我々の飛行機しかなく、他に一機も見られませんでした。非常にびっくりするような飛行場で、税関というものもありません。名前も確認せずに中に入って、バスが待っていて、そのバスに乗ってホテルまで連れて行ってもらいました。飛行場にもほとんど人がいなくて、平壤という大きな町に行くまで、向こうからほとんど車が一台も来ないような状況でした。平壤でいろいろなところを見させて頂いたのですが、板門店まで行きまして、そこまで行くときに、他の国賓扱いの団体がいくつかありまして、そのバスが 3 台位、ベンツが先導しまして、平壤まで 1 時間位、広い道、こちらからも我々の団体以外は車が一台も通らない、向こうから対向車線をくる車も一台も無いというような状況で行きました。非常にびっくりした覚えがあります。

ガソリンが足りませんので、車が動きません。皆さんペットボトルを持ってトコトコ歩いていました。板門店まで行きますと、軍人の方がずいぶんいらっしゃいまして、こんなことを言っていました。

「この国は今臨戦態勢だ。日本とか、韓国からはこちらにミサイルを向けているのであるから、我々も当然こちらにミサイルを向けている、いつでも攻撃する用意がある。」
ということを言われてびっくりしました。そこまで考えているのかといろいろなことを質問させても

らったのですが、とにかく臨戦態勢であって、「社会主義体制を守るために我々は資本主義体制と戦っているんだ。」

ということをお聞きしまして、本当に心からびっくりしました。本気でこのようなことを考えているのだなと思いました。

5. 要するに、北朝鮮は社会主義の体制を守るために、代理戦争しているのだと、ソビエト、中国の代わりに資本主義の国々と戦っているのだということを明確に軍人将校さんが言っていたので、本当にそんなことを考えてやっているんだと非常に驚きました。金正日さんのお父さんである金日正さんのお墓、安置所にも行かせて頂きましたが、それは荘厳で、国家を作った方ということで、大事にされていました。ものすごい夢のような安置所がありまして、そこに入るまで、皆さんずーっと待っていて、我々は国賓扱いでしたので早く入れてもらいましたが、長い時間待って、最高の敬礼をしながら、金正日さんのお父さんの金日成さんをお参りをしていたのを思い出します。

6. 金剛山にはいかなかったのですが、近くのハイキングということで、山に行きましたら、そこはきれいな山で、水が出てきて非常に美しいところもあるんだなと思いました。ただ、途中の山はほとんど木が生えていまして、これなら洪水が起こるかなと思いました。伐採したのか、枯れてしまったのかよく分かりませんが、木が生えていない山が多く異様な感じがしました。

7. 地下鉄もありましたけれど、防空壕になっていました。かなり深い、何 10 メートルもエスカレーターで行って地下鉄に乗りました。地下鉄に乗ったとき、驚いたことに我々の代表団が行ったときは、地下鉄の車両の中に入ると、その乗っけいらっしゃる方全員が起立をして、「どうぞ」ということで席を譲って下さいました。随分親切な方々なんだなと思いました。

8. 私もテポドンが発射される直前に北朝鮮に行きました。今回、小泉首相が行って、いろいろな交渉をなさって頂き、国交回復するのはありがたいのですが、ああいう形で主権国家の日本から日本国民が拉致されて、死亡となってしまったのは非常に許し難いことだと思います。これからの交渉はいろいろあるでしょうが、がんばって国家の名誉、被害者の方々の尊厳を回復するような交渉を息長く続けていただいて、日本の名誉を回復して頂きたいと思います。

9. 小泉首相が北朝鮮に行きました、私もたまたま、行かせて頂きましたので、今日はその感想を述べさせて頂きました。

10. 車を運転している皆さんは、どうか、前の車に追突しないように。いつもお願いしていますが、車間距離を十分離して運転して下さい。お願いいたします。